

〈目次〉

1. [基本情報（会社情報・IR情報）](#)
2. [事業・経営戦略](#)
3. [財務・業績](#)
4. [その他お問い合わせ](#)

1. 基本情報（会社情報・IR情報）	
Q1. 会社の設立はいつですか。	A1. 2007年に(株)ガリバーインターナショナル(現(株)IDOM)の孫会社として(株)ジー・ワンクレジットサービス(現(株)プレミア)を設立し、その後いくつかのファンド等を経て、2015年に(株)AZS一号(現(株)プレミアグループ)を設立しました。 当社沿革の詳細は、以下をご覧ください。 ・ 個人投資家向け会社説明資料 ・ 有価証券報告書
Q2. 株式が上場されたのはいつですか。	A2. 2017年12月東証二部上場、2018年12月東証一部へ市場変更、2022年4月にプライム市場へ移行いたしました。
Q3. 証券コードは何番ですか。	A3. 7199です。
Q4. 会社の経営方針やミッションについて教えてください。	A4. 経営理念として2つのミッションと共通の価値観であるVALUEを掲げております。中長期的には「カープレミア事業モデル」を確立し、ONE & ONLYのオートモビリティ企業となることを目指しております。 詳細は以下をご覧ください。 ・ 経営理念／ミッション ・ 中期経営計画
Q5. どのようなグループ会社がありますか。	A5. グループ会社一覧 をご覧ください。
Q6. どのような株主構成になっていますか。	A6. 有価証券報告書・四半期報告書 の大株主一覧をご覧ください。
Q7. 株式の売買単位は何株ですか。	A7. 1単位100株です。
Q8. 配当金の推移について教えてください。	A8. 決算短信 の配当状況をご覧ください。

ください。	
Q9. 株主優待制度はありますか。	A9. 現在、実施しておりません。
Q10. 株主総会の開催時期はいつですか。	A10. 毎年6月に開催する方針としております。スケジュールや招集通知の詳細につきましては、以下をご覧ください。 ・ 株主総会
Q11. 決算発表はいつですか。	A11. 決算期：3月 通期：4月下旬～5月上旬 第1四半期：7月下旬～8月上旬 第2四半期：10月下旬～11月上旬 第3四半期：1月下旬～2月上旬 詳細なスケジュールにつきましては、決定次第、以下に掲載いたします。 ・ IRカレンダー/イベント情報
Q12. 決算説明会への参加申し込みはどこでできますか。	A12. 決算説明会は開催しておりませんが、決算発表と同じタイミングで決算概要につき以下にて動画を配信しております。 ・ IRサイト ・ Youtube ・ みんなの説明会(みんせつ)
Q13. 決算情報について教えてください。	A13. 決算短信・決算説明資料 をご覧ください。
Q14. IR面談はどれくらい行っていますか。	A14. 四半期で70～80件ほど行っております。
Q15. 海外IRは行っていますか。	A15. 香港・シンガポール・北米・欧州(2023年実績)などで行っております。
Q16. コーポレート・ガバナンス体制はどうなっていますか。	A16. コーポレート・ガバナンス をご覧ください。
Q17. サステナビリティに対する取り組みについて教えてください。	A17. 財務の健全性及び業務の適切性を確保するため、各種リスク・機会を把握・分析し、適切な方法でサステナビリティ推進に努めております。詳細は以下をご覧ください。 ・ サステナビリティ(HP) ・ TCFDレポート/ESGレポート ・ 統合報告書

2. 事業・経営戦略

<p>Q1. 事業内容について教えてください。</p>	<p>A1. 「オートモビリティ企業グループ」です。 仕入れ、購入、利用、整備、買取りをはじめとする「クルマ」に関する様々な行程において、お客様や自動車販売店・自動車整備工場の皆様に安心安全かつ先進的なソリューションを提供してまいります。 事業内容やビジネスモデルの詳細は、会社説明資料をご覧ください。</p>
<p>Q2. プレミアグループの強みはなんですか。</p>	<p>A2. 銀行傘下でない独立系のファイナンス会社であるため、ファイナンス以外の商品とのクロスセルが可能なことです。 また、主力事業であるファイナンス事業と故障保証事業は、ストック型ビジネスであるため、毎年安定的に収益が積み上がる構造をしている点も同様に強みと認識しております。 当社の強み及び各事業の特長の詳細は、会社説明資料をご覧ください。</p>
<p>Q3-1. ファイナンス事業について教えてください。</p>	<p>A3-1. お客様が商品やサービスを購入する際に、分割払いができるサービスを提供するクレジットを展開しております。 ファイナンス事業における主要な商品は、自動車の購入に伴うクレジット（オートクレジット）ですが、太陽光発電システム等の購入に伴うクレジット（エコロジークレジット）等も取り扱っております。 海外では、タイ王国において経営・事業ノウハウ提供により同社の企業価値向上を図っております。</p>
<p>Q3-2. 金利リスクはありますか。</p>	<p>A3-2. 調達金利の上昇によりクレジットにおけるスプレッドが短期的に縮小する可能性はありますが、新規債権に対する当社の仕切りレートを調整するため、利益率への影響はほとんどございません。既存債権につきましては、固定レートのため</p>

影響はございません。

Q3-3. ファイナンスの収益スキームについて教えてください。

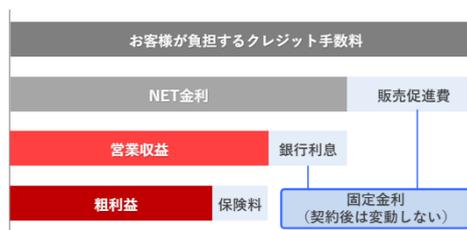
A3-3. お客様から支払われる利息のうち、販売促進費(販売店によって変動)と、銀行利息を差し引いた残りが、当社の収益となります。
詳細は、[会社説明資料](#)の「ファイナンス事業 事業の特長(会計)」をご覧ください。

収益イメージ

「低金利」を前提としないコスト構造のため、
金利変動リスクへの耐性あり

■特長

- ・中古車を購入されるお客様の金利感応度は相対的に低い
- ・返済が高額・長期に渡る住宅ローンとは異なる
- ・プレミアム獲得利益のうち変動コストは保険料が殆ど



Q4-1. 故障保証事業について教えてください。

A4-1. お客様が当社グループの提携先を通じて自動車を購入し、保証サービスの提供を希望される場合、一定の保証料をお支払いいただくことで、購入された自動車に故障が発生した際、あらかじめ定めた保証の提供範囲内において、無償で修理が受けられる「故障保証」サービスを提供しております。海外では、タイ王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国の東南アジアを中心とした諸国へ展開しております。

Q4-2. 保証と保険の違いについて教えてください。

A4-2. 「保険」は事故に起因する損害を対象にするのに対し、「保証」は通常使用下で発生した自然故障の修理が対象となります。

Q5-1. オートモビリティサービス事業について教えてください。

A5-1. 自動車流通事業を運営するうえで必要となる複数のサービスを提供しております。
主なサービスは以下の通りです。
・車両卸売販売：ファイナンス事業で発生した引揚車両を自動車販売店向けに卸販売。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェア販売：整備工場や自動車販売店向けに業務用ソフトウェアの提供。 ・サブスク：車両代金、保証料金、車検費用、メンテナンス費用などがすべて含まれた毎月定額支払の個人向けオートリースを提供。 ・会員組織：自動車販売店及び自動車整備工場のネットワークを組織化した「カープレミアクラブ」の組成。 ・自社整備工場/その他：当社グループで自動車整備工場を運営し、モビリティ事業者が抱える課題の抽出、及び提供サービスのテスト導入を行い、モビリティ事業者の需要に合わせた商品を企画。
<p>Q5-2. カープレミア会員になるとどのようなメリットがありますか。</p>	<p>A5-2. オートクレジットの与信を拡大し取引量を増加させることや車両卸販売の特別制度等、様々なサービスを受けられます。詳細は会社説明資料の「オートモビリティサービス事業(カープレミア)概要」をご覧ください。</p>
<p>Q6. 中長期の経営戦略を教えてください。</p>	<p>A6. 2024年3月期を初年度とする3カ年の中期経営計画「ONE&ONLY 2026」を掲げております。ファイナンス事業、故障保証事業、オートモビリティサービス事業の3つの領域でのNo.1を達成し、カープレミアクラブを中心とした中古車領域経済圏を構築したいと考えております。カープレミアクラブの拡大、カープレミアブランドの認知拡大による集客力の強化、サービスのオンライン化の推進等により、会員に特化した営業組織や企画運営を行う体制を築き、会員個々の満足度向上を図ることで、より強固な信頼関係を構築し、当社グループが展開するサービスの稼働率の向上や各事業とのシナジーの創造に繋げてまいります。経営計画、数値目標の詳細は、中期経営計画をご覧ください。</p>

3. 財務・業績

Q1. 業績の推移について教えてください。	A1. 業績推移や経営指標につきましては、「 財務/業績 」をご覧ください。
Q2. 業績の見通しについて教えてください。	A2. 通期業績見通しにつきましては、 決算説明資料 。中長期的な業績見通しにつきましては、 中期経営計画 をご覧ください。
Q3. 事業ごとの業績について教えてください。	A3. 事業ごとの直近の決算内容につきましては、 決算説明資料 をご覧ください。
Q4. 業績に影響を与えるリスクを教えてください。	A4. 有価証券報告書 の3【事業等のリスク】をご覧ください。
Q5. 財務状況について教えてください。	A5. 過去5年間の推移は「 財務ハイライト 」をご覧ください。
Q6. 貸倒リスクはありますか。	A6. 複数の損害保険会社と取引信用保険包括契約（立替払方式のクレジット債権を対象とするもの）及び保証機関型信用保険包括契約（提携ローン方式のクレジット債権を対象とするもの）を締結することでリスクヘッジしております。そのため、当社BSにおいて貸倒引当金は計上していません。

4. その他お問い合わせ

その他、ご質問がございましたら、[お問い合わせページ](#)をご利用ください。